

ジェンダー平等先進国・アイスランドの政治家 ヨン・グナール議員/未来会議議長と語る 「女性の休日」50周年前夜

 $2025\,10.23\,\mathrm{THU}$

18:30~21:00

場所:東京大学 本郷キャンパス

情報学環・福武ホール

申込み:右記QRコードより事前予約

(10/22まで受付中)

主催:東京大学情報学環 林香里研究室・藤田結子研究室、kinologue

共催:情報学環、東京大学多様性包摂共創センター 後援:アイスランド大使館









「私たちがいないと、社会はどうなるのか」 シスターフッド (女性たちの連帯) が世界に示した柔らかな革命

1975年10月24日、アイスランド全女性の90%が仕事や家事を一斉に休んだ、前代未聞のムーブメント「女性の休日」。国は機能不全となり、女性がいないと社会がまわらないことを証明した。インターネットもスマホもない時代に、女性たちは何に突き動かされ、どのように連帯して成し遂げたのか。その知られざる全貌が、当事者たちのユーモア溢れる愉しげな証言とアーカイブ映像、カラフルなアニメーションで、ポップに、エモーショナルに語られる。

ビョークも絶賛!「いまを変えたい」人たちへのエンパワーメント

彼女たちが踏み出した一歩は、女性だけでなく誰もが生きやすい社会にしたい人たちに、勇気とインスピレーションを与える。アイスランド出身の歌姫ビョークも彼女たちを称え、曲を提供した。今や女性大統領と女性首相が統治する、ジェンダー平等先進国(2025年発表・ジェンダーギャップ指数16年連続1位、日本は118位)となったアイスランド。その大きなきっかけとなった運命の1日を振り返るドキュメンタリーが、50周年を記念して公開となる。





監督: パメラ・ホーガン エンドクレジットソング: ピョーク 出演: ヴィグディス・フィンボガドッティル、グズルン・エルレンズドッティル、 アウグスタ・ソルケルスドッティル、グズニ・トルラシウス・ヨハネソン他 2024年/アイスランド:アメリカ/アイスランド語・英語/71分/原題: The Day Iceland Stood Still 後援: アイスランド大使館 提供・配給: kinologue © 2024 Other Noises and Krumma Films.

kinologue.com/wdayoff

X @wdayoff_1975

@shw_wdo

@shousewives.wdayoff 「やってみる」日に!

10/24は #**女性の休日**で 「やってみる」日に!



On October 24, 1975, 90% of all women in Iceland simultaneously took a day off from both paid work and housework in an unprecedented movement known as the "Women's Day Off."

The country was brought to a standstill, proving that society could not function without women. This historic day became a major turning point that led Iceland to become a global leader in gender equality, ranking first in the World Economic Forum's Gender Gap Index for 16 consecutive years (as of the 2025 report, while Japan ranked 118th).

On October 23, the eve of the 50th anniversary of "Women's Day Off," a preview screening will be held at the University of Tokyo, followed by a talk event with **Jón Gnarr, member of Althingi and Chair of Future Committee of Iceland**, on the theme "**How Can We Change?**"